

## 初夏の幼児の保健について

東京帝國大學講師 醫學博士 太田孝之

日増に氣温が騰つて來まして暑さの季節に入りました上に、殊に梅雨期では空氣中の湿度が増す爲めに、むし暑いといふ感が我々の身體にいろいろの影響を與へます。平生健康な人でも幾分仕事に對しての輕るい倦怠を覚えたり、多少疲勞する氣味であつたり、又は食欲なさも多少衰えて來ます。

氣温が騰つて來た上に梅雨期のやうに湿度が非常に増し

ます。種々の微生物の發育には都合のよい條件になりますから、家財や手まわりの道具などの餘り微生物と縁の遠いやうに見える品物にまで微生物が生えて來ます。此は微生物の發育に適當してゐる温度や濕氣のある爲めであります。夫して我々の口に入れる食物は蛋白質もあり脂肪もあり含水炭素もあり醣類もあり水分も含まれてゐて、微細な生物である微生物

の増殖に必要な滋養分でありますから、微生物の發育に適當な温度に氣温が上り又た湿度が増して來れば、時を得頗り發育することは容易に理解が出來ます。何故この季節に食物が腐敗するか、是は申す迄もなく食物に附着してゐる眼に見えぬ細微の微生物、それもいろいろの種類がありますが、すべて盛んな發育と増殖を遂げるこゝが出来る爲めであります。

又たこの季節に増えて來ます蠅を恐れる理由も此處にあります。蠅が夫れから夫れと不潔な場處を飛び廻つて来て、身體に多數の微生物を附けたまゝで家中に飛んで来て食物にたらします。その微生物を食物の上になすり附けて微生物を植えつけて行き、夫が爲めに食物が腐敗するところになります。更に恐ろしいのは有害な病原の微生物、例へ

ばチブス菌や赤痢菌、さてはコレラ菌なぞを、病人の身體から出た不潔物から運んで来る事であります。

現今の大都會は、地方に比べて總ての設備

が可成衛生的に進歩して來ても、一年中チブスが絶えなかつたりして四季断えず流行のあるのは、塵埃の始末下水や溝又は井戸から便所なさが、歐米各國の設備比して遙に劣つてゐるから、一般の人々衛生に對する理解もまだ／＼低級のものであるから歸納せねばなりません。

そこでこの季節の幼兒に對しての保健について注意を述べますなれば、以上の事實を考へて注意して兒童を取扱はねばなりません、夏季は幼兒の生活の機能が幾分鈍いから胃腸の機能も鈍くて弱り易い、これ故榮養上に注意して機能の鈍い内臓を弱らせて、障害を起させぬ様病氣にならぬ注意する事が肝要であります、夫れには餘り不消化のものを食べさせたり、或は餘り分量を過して食事を與へたりせぬことを注意せねばなりません、假令ひ消化のよいものでちこゝういふ季節に過分に與へては矢張病氣を惹起

す原因になります、冬から見れば食事の分量は幾分控へ目にするこゝに餘り美味いからといつて無暗に食べ過ぎぬ様に注意せねばなりません。

又た前述べた様にさなくとも食物が腐敗し易いから、うつかりご腐敗した食物を與へますと、この時期には直ぐ胃腸を傷つて病氣を起しますし、又種々の病的の微生物のついてゐる食物を與へれば、その病的微生物の傳染を受けてチブス赤痢等に罹ります、間食の菓子なぞにしても餘程種類や分量を、平生よりは一層注意して與へる様にせねば胃腸を傷ひます、寒い季節に餡の入った菓子や砂糖分の非常に多い菓子を食べて何ともない幼兒でも、夏は夫が爲めに腸を悪くしたこいふのは全く以上の理由で説明が出来ます、菓子ばかりではありません異物も同様で食べ過ぎれば同じ様な結果になります、幼兒をもてる家庭ではこの時期には食物の貯藏といふこゝにも注意して食物を腐敗せぬ様、又た清潔な場處に蠅や蚊や虫なぞの絶対に寄りつかぬ場處を選まねばなりません、貯藏するとしても出来るならば割に腐敗し難いパンや菓子や果物の類までも、温度の低い冷蔵庫

の内に貯蔵しておきたいものであります。それよりは常に新鮮な食物即ち新鮮な材料から調理して直に與へることがよいのであり、果物にしても何にしても新鮮なものと與へることが出来れば最も理想的であります。私は暑氣と食物の腐敗の關係を一目に理解出来る参考に、幼児の重要な食物の一である牛乳の中の微生物の數が、いかに暑氣に關係して多くなるものかを示して見ませう、冬搾り立ての新鮮の牛乳の一立方厘米の中に含んでゐる微生物の數が、或る検査では一萬七千匹でしたが、同じ牛乳が夏搾り立てのものでは三萬匹ありました、又他の人の検査したのでは、牛乳の一方糖の中の微生物の數は新鮮の搾り立てのものでは僅に九千三百匹でしたが、此牛乳を攝氏の十五度の温度で十五時間貯蔵しておきますと十萬匹となりました、温度攝氏二十五度の中で同じ時間後には七千二百萬匹に増えました、牛乳の中の微生物の数が非常に増えたといふ事は即ち牛乳の腐敗が進行はれてゐる證據であります、攝氏の十五度と申すと、華氏の五十九度になりますから丁度春の氣温であり、攝氏二十五度といへば華氏の七十七度でこの頃の

夏の初めの氣温になります、此検査を見ても夏の氣候と食物の腐敗し易いことがよく分かります。實に微生物繁殖の状態が肉眼に見えぬほどはいへ恐るべきものであることはねばなりません。

私は同じ理由で夏は幼児が多少食慾が活潑でない時に三度の食事に際し食慾の進まぬを無理に強いて、御飯の分量を平常のやうに充分に食べさせやうと勧めないでもよいことを信じます。最も全然食べないで却つて間食を欲しがるといふやうな事は嚴重に制せねばなりません、又反対に自分の好む菜であるからといって、いつもより餘分に食べようとせがむ時には抑へて止あさせねばなりません。

赤痢痘瘡についての保健上の注意については次號に述べるとして、こゝには最近東京市の下町で流行してゐます、小兒腸チブスの豫防上について一應注意を述べておきます。最近流行のチブスの経路はどういふのでありますか未だ詳しい報告を聞きませんが、チフス流行時に第一に注意すべきことは、生水をのませぬことであります、勿論水道でありますと殆んど、其危險や、心配はないが、こういふ際に

はやはり生水は控えた方がよいのであります、井戸水は今  
日市内では普通飲料水には用るませんが、井戸水には細菌  
類も不潔な有機物も多く含まれてゐますし、殊に流行地の  
井戸水にはチフス菌の混入の危険もあります、普通用水に  
使用するにしても餘程注意しませんこ危险であります、こ  
ういふチフス菌のある井水で皿や茶碗を洗つただけでも傳  
染の危険があるこいはれ、果物や野菜を同じ水で洗つて生  
のまま食べても傳染するこいはれてゐます、蠅や蚊の驅除  
にはわけて苦心せねばなりません、又た食物もすべて生ま  
のままでは幼児に與へぬやうにし、果物の如きも水道の水  
でよく清潔に洗つてから與へねばなりません、其他過食寢  
冷えを用心し、食事の前に必ず幼児に石鹼で手を洗はせる  
ことを注意してやり、又流行地では戸外に土いぢりして遊  
ばせぬ様にし、戸外から歸つて來ても手を一々洗はせた方  
が安心であります、最後の豫防法はチフスの豫防注射を行  
ふのであります、何れにしても萬一幼児に熱が出て不機嫌  
でありましたら、一應醫師に診査を受けた方がよいのであ  
つて早く治療を受けるこしが肝要であります。

### 初夏の幼児の保健について

## 大 東 京 市 民 選 歌 詞

市 歌 (一等) 高田耕甫作

一、むらさき匂ひし武藏の野邊に  
日本の文化の花咲き亂れ  
月かげ入るべき山の端もなき

昔の廣野おもかげいづこ  
高閣ばるかに連りそびえ  
都のどよみほうづまきひぐく

帝座のもこなる大東京の  
伸び行く力の強きを見よや  
大東京こそわが住むところ  
千代田の宮居はわれらが誇り  
力をあはせていざ我が友よ  
我等の都に輝き添へむ

### 童謡 (一等)

吉田榮次郎作

#### 一、日本一の東京よ

それはござながしたのです  
ちいさまばあさましたのです

#### 二、東洋一の東京よ

それはござながしたのです  
とうさまがあさましたのです  
したのです

#### 三、世界一の東京よ

それはござながするのです  
それはわたしがするのです  
するのです